

SONY KAPOOR

▪ Managing Director of Re-Define

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Sony Kapoorは、Re-Defineのマネージングディレクターであり、London School of EconomicsのVisiting Fellowでもあります。2011年半ばに彼は欧州銀行協会の銀行ステークホルダーグループの会長に選出されました。2011年にソニーは経済統治、金融改革およびユーロ危機を扱う欧州委員会の客員研究員でした。また、欧州議会の2年間の経済危機に関する委員会「CRIS」に助言を与える専門家委員会のメンバーでもありました。2015年8月以来、彼はマネージングディレクターです

裁判所Jestersコンサルティング株式会社

Topics

- Economics
- Finance
- Society
- Strategy

それ以前は、2007年からノルウェーのノルウェー外務省の戦略顧問、オランダのOxfam Novibの戦略顧問「Christian Aid」の開発経済担当を担当していました。1998年にインドのトップ銀行の1つであるICICIでコマーシャルバンキングを始め、その後ロンドンのリーマンブラザーズでレバレッジドファイナンスの仕事をしました。彼はまた米国のAquila Energyのためにデリバティブを取引した。

ソニーはEurodad（欧州債務開発）、国際税務裁判ネットワーク「Stamp out Poverty」などの国際NGOの理事会のメンバーでした。

彼は世界銀行、国連、先進諸国および発展途上国のいくつかの政府に対する国際金融および開発に関する専門家コンサルタントを務め、違法な資金の流れに関する政府間タスクフォースの設立を支援してきました。

彼はユーロと金融改革の問題について頻繁に一般の解説者です。ソニーは、米国議会、欧州議会、ドイツ連邦議会および他のいくつかの国会で、金融と経済に関する専門家証人として証言してきた。彼は、いくつかの政府機関や市民社会組織に対し、実体経済へのサービス提供のための資金の活用方法、福祉費を最小限に抑えるためのユーロ危機への取り組み、開発および環境目標の効果的な推進方法について助言しています。